

第39回 連携会議記録

日時 2013/1/22 15:00 ~

会場 市庁舎 402 号会議室

参加者数 19/26

会議の記録

< 協議題 1 > 「提言 2012」について

(1) 提言 14 「教材備品購入費の執行について (案) 」について

参加者より、市内の学校は二期制を採用しているので、市教委が言うところの「年間通しての計画が必要」という点はどうか、との質問あり。

事務局から、予算執行はあくまで年度ベースなので、「二期制だから二期に分けて計画すべき」のような議論は通用しないのではないか、と回答。

千歳市の経験者から、千歳市の状況を話してもらいながら意見交換。そのなかで、「千歳においても、どのような変更も可能というわけではなく、やむおえない場合のみ計画変更が可能であるとの押さえである」という意見があり、その点が石狩市でいうところの「緊急の場合の個々詮議」にあたるとの意見あり。

学校配分方式を求める強い意見が少ない現状では、その必要性をうたえる提言には至らないとのまとめをして、提言 14 については字句修正を含め確認。

(2) 提言 15 「学校図書館のブックカバー取り付けについて (案) 」について

参加者より、K社のシステムが導入されるに至った経緯について説明あり (R社がバーコード、ブックコートサービスをやっていて、その後システムをK社に引き継いだ) 。

質問として、 図書管理システムを今後どうしていくのか (1社に統合されていくのか) 司書の配置、未配置による取り組み方の違いなども検討する必要がある、 補正予算分の図書が入札になると聞いているが、K社のシステム校にT社が納入することになった場合、バーコードの扱いなどはどうなるのか、 厚田、浜益問題をどうするのか、などがあつた。

事務局見解、意見などをまとめると、 市民図書館と同一システムの 2 校に図書費の重点配分や司書の配置が優先的にすすめられていることや、厚田小学校の市民図書館分館化を考えると、今後システムが統一されていくことは間違いない、 一方で、分館化されない小規模校は取り残されることも考えられる、 システムの統一により、学校側にはメリットが大きいと考えられる、 次年度から図書費の管轄が市民図書館に移管するという場面でもあり、現在の問題点を今のうちに指摘しておく観点が必要、等。

上記の論議を踏まえ、再度調査を実施し、次期連携会議で提言案を提示する。

(3) 提言の最終確認は「2012 年度版石狩市の連携会議」作成時に行うこととする。

< 協議題 2 > 保護者負担調査の交流

集計表を全体で見ながら、疑問点などを交流。主な意見は以下の通り。

小学校「実験・実習材料費」～新 1 年生の入学グッズの代金を入れるのかどうか。

小学校「修学旅行費」～自主研修で卒業記念品作成を行い、その代金が含まれている学校あり。

小学校「宿泊学習費」～スクールバスを使える学校がある。経緯は不明。

小学校「遠足・課外学習」～課外学習とは主に社会科見学で、内容は動物園など。

小学校「スキー学習」～バス代を算入していない学校あり。調査時に計画が決まっていなかったためあり、今後の調査では前年度実績を記載することも検討。

小学校「芸術鑑賞費」～「きたら」の観賞代は無料で、バス (市教委手配) 代個人負担。(市内総参

加児童数で割りかえしていると思われる)

小学校「同送会費」～1校のみ徴収(1,000円)。どのように使われているか不明。

中学校「その他」～スポーツテストの業者委託費を集めている学校は市内にはない。

中学校「宿泊学習費」～修学旅行にラフティングなどを入れると、費用が突出する。

中学校「生徒手帳代」「生徒会」～生徒手帳代を生徒会費に含んで徴収している学校あり。

中学校「学年・学級費」～学級費を行事後の飲み物代など最小限に抑えている学校あり。

<協議題2>「保護者負担調査」の分析作業について

事務局より、提案内容を説明し提案通り確認。